

消費者物価 2.8%上昇

9月、食品値上げ続く

総務省が20日発表した9月の全国消費者物価指数(2020年=100、生鮮食品を除く)は、前年同月比2.8%上昇の105.7だった。伸び率は8月の3.1%から鈍化し、13カ月ぶりに3%を下回ったものの、食料品や日用品など幅広い品目の値上げにより、高水準が続いた。物価指数が前年同月を上回るの

は25カ月連続。

企業の値上げ圧力はまだ強い。最近の原油高や円安で高水準の物価上昇率が続く可能性があり、個人消費が腰折れする恐れもはらむ。品目別では、生鮮食品を除く食料が8.8%上がった。原材料費や輸送費の上昇を販売価格に転嫁する動きが続ぎ、レトルトカレーやアイスクリーム、炭酸飲

料などが値上がりした。宿泊料は17.9%上昇。新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐ中、インパウンド(訪日客)の増加で料金を高く設定する宿泊施設が多かった。

トイレットペーパーなど家事用消耗品は12.7%上昇。携帯電話の通話料も10.2%上がった。エネルギーは11.7%低下。このうち、電気が24.6%、都市ガス代が17.5%それぞれ下がった。燃料の液化天然ガス(LNG)など資源価格の下落と、政

府による価格抑制策が影響した。プロパンガスも3.4%低下した。一方、ガソリンは8.7%、灯油は7.5%値上がりした。原油価格の上昇が要因。

ケンタッキーが

25日から値上げ

日本KFCホールディングスは20日、「ケンタッキーフライドチキン」の約9割のメニューを25日から値上げすると発表した。店頭と宅配の両方で実施し、値上げ幅は10〜450円。同社は昨年7月と今年3月に

もケンタッキーの主要メニューを値上げしている。

高騰する原材料価格やエネルギー、物流などの関連コストを価格に転嫁する。最も値上げ幅が大きい「トクトクパック8ピース」は宅配の3300円が3750円に、店頭の2640円が2940円になる。人気商品の「オリジナルチキン」と「骨なしケンタッキー」はそれぞれ宅配、店頭とも20円引き上げる。